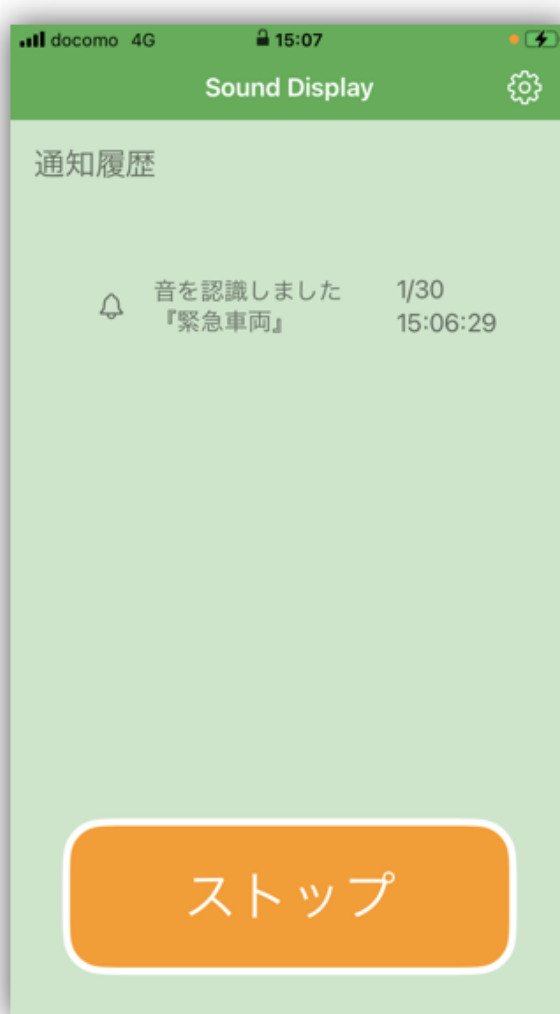


## ⑧ 情報技術開発(株) Sound Display

---

企業名	情報技術開発株式会社
機器・サービス名	Sound Display
問合せ先	support.sound-display/atmark/g.tdi.co.jp (注)スパムメール防止のため「@」を「/atmark/」と表記しています。
機器・サービスの概要	本スマートフォンアプリは、周囲の音をAIで認識し、アプリ利用者に通知するものです。主としてろう者や難聴者といった聴覚障がい者の利用を想定しています。
機器・サービスの特徴	<p><b>1. 機器・サービスの機能</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 音認識機能:身の回りの音を認識してユーザーに通知します</li> <li>● 音登録機能:通知してほしい音を自由に録音・登録できます</li> <li>● プリセット音:アプリインストール時に認識できる音(緊急車両等)を複数用意しています</li> <li>● 多様な通知方法:プッシュ通知画面、バイブレーション、LED等、複数用意しています</li> </ul> <p><b>2. 情報アクセシビリティの配慮内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● テーマカラーの変更:ユーザはアプリの背景を自分の状況に合わせて変更ができます</li> <li>● ユーザガイドの準備:利用方法を示した動画を字幕付きで公開しております</li> <li>● 操作の簡易性:ほぼ、タップのみのシンプルな操作でご利用ができます</li> </ul>



## ⑧ 情報技術開発(株) Sound Display (概要)

### 当事者ニーズを踏まえた開発

実用化検討段階においては、複数の当事者団体等へのヒアリングを行いました。また、開発メンバーの親族(聴覚障がい者)の協力をいただき、実際の聴覚障がい者へもヒアリングを実施しました。

開発段階においても、障がい者の就労を支援する団体や聴覚障がい者の情報伝達を支援する団体へのヒアリングを実施しました。また、聴覚障がい者を支援する団体には、実際の聴覚障がい者の方への試用を含め、継続的なご協力をいただきました。

### 企業としての取組

情報アクセシビリティに関わる全社ルール策定、情報アクセシビリティチームの組成等ははまだ始まっておりません。

## ⑧ 情報技術開発(株) Sound Display (審査結果)

### 1. 当事者・開発者の視点でみたときに、アクセシビリティ配慮として評価できる点

#### a. 製品が提供する価値

- 身の回りの音を認識し、その情報をスマートフォン等の画面に文字で表示する機能は、ろう者や聴覚障害者が感じる日常生活や就労時の不自由さ・身の危険を解消し、社会参加しやすい環境づくりを支援できる。
- 緊急通報を含め、どのように情報を聴覚障害者に提供するかは重要な課題であり、それに応える支援アプリケーションである。
- 緊急通報が聞こえないという当事者ニーズに応えた点に敬意を表する。

#### b. 機能面でのアクセシビリティ配慮

- 音の認識時にバイブレーションで通知し、ほぼタップで操作できる。

### 2. 当事者にとって重要であるが、今後更なる配慮が期待される点(今後期待したい点)

#### a. 製品が提供する価値

- 救急車・消防車・パトカー等が接近している際に、これらを区別できることを期待する。
- 多言語対応の開発が進めれば利用者が増える可能性があるので期待する。
- 同様の機能はスマートフォンの基本機能に搭載されているが、使い勝手は本製品の方が良いと思う。今後、スマートフォンの基本機能との役割分担は課題かもしれない。

#### b. 機能面でのアクセシビリティ配慮

- 音登録は、音が聞こえない聴覚障害者には困難ではないかと思われるので、聴覚障害者でも簡単に登録できるような方法の開発を期待する。
- 誤認識した場合に修正出来ることを期待する。

## ⑧ 情報技術開発(株) Sound Display (審査結果)

### 3. 当事者ニーズを踏まえた開発について、優れている点

- 開発や実用化の過程で、障害者団体等へのヒアリングを行い、試用協力を得ている。これにより、試作品の使用経験を通じて改善点を見出し、製品化につなげている。

### 4. 企業としての取組について、優れている点

- 障害者団体との連携は同社の基本姿勢と読み取れる。